



大槻 ゆり子 議員

### 健康づくり推進

## 健康診断の受診状況は？

低い受診率に  
保健指導等で対応する

答

(34.4%) 増となっております。

ポイント制度の活用で市民の健康寿命を延ばし、健康保険事業の赤字対策、また、商店街活性化をめざそう！

問 がん検診や特定健診受診状況の現状と課題は。

答 健康福祉部長

介護保険料基準月額も、第1期の平成12年度から平成14年度は2千650円、第2期は2千950円、第3期および第4期は3千800円、第5期は4千800円と増加しています。

近年、受診率が低いレベルで下げ止まっています。その為、健康づくり講座

や個別訪問で保健指導を行う等、受診しやすい体制づくりを目指しています。

問 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)への見解は。

答 健康福祉部長

ロコモ予防は健康寿命を延ばす上で大変重要な効果があり、介護保険制度や医療保険制度の安定的な運用のためにも、必要なものと認識しています。

「高島あしたの体操」の普及啓発や、食生活に関する出前講座等を開催して、高齢者の健康づくりを進めています。

問 健康マイレージの導入をどのように検討していただいたか。

答 健康福祉部長

高島市商工会が運用するスマイルカードを活用する形で協議を進めています。本年度は商工会の事業として、集団健診の受診者にポイント引換券を交付する調整を進めています。

●健康マイレージ：

健康づくりへの取り組みをポイント化し、健康づくりへの積極的な参加を促す仕組み。

その他の質問

●人口減少、婚活推進で出会いと結びの支援を

問 市の介護保険を取り巻く現状と課題は。

答 健康福祉部長

要支援・要介護認定者数は平成20年度末から平成25年度末で、517人(23.4%) 増となっております。

介護保険給付費も平成20年度決算額は約31億3千300万円が、平成25年度決算見込額では、42億1千200万円となり、10億7千900万円



▲「高島あしたの体操」で介護予防